

令和4年度 京都府スーパーサポートセンター(SSC)主催 聴覚障害のある児童生徒に関わる指導者研修会 報告



令和4年6月

1 テーマ 「聴覚障害の理解と支援」

2 動画配信期間 令和4年5月6日(金)から令和4年6月2日(木)まで

3 方法(開催形態) YouTubeによる動画限定配信

4 内容 「聴覚障害について」「きこえにくさの疑似体験」
「聴力測定表の見方」「学校生活での支援、配慮について」
講師:京都府スーパーサポートセンター(SSC)聴覚支援担当

山城教育局管内(京都府南部地域)の小・中学校に在籍する聴覚障害のある児童生徒に関わっておられる先生方を対象に、指導者研修会を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度と同様にYouTube 動画限定配信で視聴していただく形態で実施し、京都府南部地域の小・中学校、教育行政機関の先生方17名の御参加がありました。

動画では、きこえにくさの疑似体験や聴力測定表の見方のほか、学校生活上の支援や配慮についてSSC聴覚支援担当よりお話ししました。御視聴いただいた先生方からは「きこえの難しさを実感した」「たくさんの困り感があると再認識した」という御感想をいただき、体験を通して聴覚障害児への理解を深めていただけたと感じております。また先生方が日々の実践の中で、聴覚障害児への具体的な支援の方法を求めておられるのだと御感想よりお見受けしました。

御参加いただいた先生方の御意見・御感想を基に、今後もよりよい研修会を実施できるようにスタッフ一同取り組んでいきたいと思っております。

8月末からは今年度2回目の指導者研修会を予定しています。YouTube 動画限定配信で、愛知淑徳大学の中井弘征先生に、「地域で学ぶ聴覚障害のある児童生徒への支援について」をテーマにお話いただきます。是非御参加ください。

実践している配慮・支援



- 座席配置
- 板書提示
- 教師の話し方
- 補聴援助システム(ロジャー等)
- 障害理解教育
- その他

悩んでいる配慮・支援



アンケート結果より

きこえにくさの体験

~ある单元より~



どの都市ですか
何かあるといっていますか

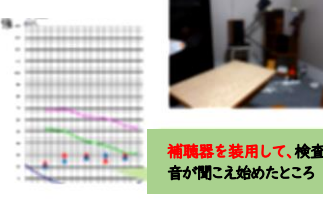
聴覚障害とは、
一つの感覚器の障害ではあるが

言語障害⇒ 言葉や学力への影響

コミュニケーション障害⇒
人間関係への影響

情緒障害⇒ 社会生活への影響

SPL オーシオグラム



補聴器を装着して、検査音が聞こえ始めたところ

配信動画より【一部抜粋】

研修会(動画視聴後)の御感想【一部抜粋】

聴覚障害児のきこえ方がどんなものか、きこえにくさの体験でよくわかった。視覚による支援、事前にわかっていることへの対応、新しいことばへの対応など我々が取り組むべき配慮や手立ての大切さがわかった。

感音難聴の実際のきこえにくさが体験することでよくわかった。ちょっとした支援の内容の例も、具体的でよかった。

インクルーシブ教育の視点から、通常の学級に在籍する聴覚障害を持つ子どもたちが、どのような学びにくさがあり、どのような支援を必要としているのか、子どもの思いや子どもだからこその弱さも把握した上で考えていかなければならないと感じた。